

公開実用 昭和61-200274

Ref. a

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 昭61-200274

⑪ Int. Cl.

B 42 D 15/02
B 44 F 1/12

識別記号

庁内整理番号

7008-2C
6766-3B

⑬ 公開 昭和61年(1986)12月15日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑭ 考案の名称 有価証券

⑮ 実 願 昭60-83359

⑯ 出 願 昭60(1985)6月4日

⑰ 考 案 者	長 谷 川	幸 雄	東京都台東区台東1の5の1	凸版印刷株式会社内
⑱ 考 案 者	黒 川	静	東京都台東区台東1の5の1	凸版印刷株式会社内
⑲ 考 案 者	小 林	昭 彦	東京都台東区台東1の5の1	凸版印刷株式会社内
⑳ 考 案 者	鳥 山	泰 弘	東京都台東区台東1の5の1	凸版印刷株式会社内
㉑ 考 案 者	黒 岩	政 夫	東京都台東区台東1の5の1	凸版印刷株式会社内
㉒ 出 願 人	凸版印刷株式会社 東京都台東区台東1丁目5番1号			
㉓ 代 理 人	弁理士 鈴江 武彦 外2名			

実用新案法第13条の2第2項第4号の規定により図面第3図の一部は不掲載とする。

BEST AVAILABLE COPY

明 細 書

1. 考案の名称

有価証券

2. 実用新案登録請求の範囲

(1) 肉眼では判読しにくい真偽判定用微細小孔群を設けたことを特徴とする有価証券。

(2) 微細小孔群の孔径が5ないし50 μ mである実用新案登録請求の範囲第1項記載の有価証券。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案は偽造防止策を施した有価証券に関する。

〔従来の技術〕

有価証券の偽造防止方法として、用紙にスカシ、蛍光繊維、色玉または発色剤を入れるなどの方法が知られているが、このような用紙に特殊な偽造防止策を施す場合、これを抄造時に行う必要がある。そのため製造コストが高くなり、また納期が短い場合に対応できないなどの問題

があった。

〔考案の目的〕

本考案は上記事情に鑑みてなされたものであって、偽造防止策を抄造後、任意の時点に安価にかつ短時間で施すことができるなど製造が簡単で、かつ複製が困難であって、しかも真偽判定の容易な偽造防止策を施した有価証券を提供することを目的とする。

〔問題点を解決するための手段〕

即ち本考案は肉眼では判読しにくい真偽判定用微細小孔群を設けたことを特徴とする有価証券を提供するものである。

さらに本考案は微細小孔の孔径が5～50 μ mである有価証券を提供する。

なお本明細書において、有価証券とは小切手、宝くじ、債券、株券、クレジットカードなどの他、伝票などの有価証券に類するものをも含む広い概念である。

〔実施例〕

以下この考案を図示の実施例を参照して説明

する。図中 1 は商品券であって、その任意の一部 3 a 又は 3 b に真偽判別用の微細小孔群 2 が施されている。この小孔群 2 は各孔径が肉眼では判別できない程度の小孔（例えば 5 ～ 50 μm 程度）から構成されている。この小孔群を施す位置については特に制限はないが、迷彩となるような模様が印刷された部位 4 に施すようにすれば、この微細小孔群 2 の存在が一層見分けがつかなくなるので好ましい（第 2 図参照）。この微細小孔群 2 の形態についても特に制限はなく、例えば地紋的に入れたり、会社マーク（第 3 図参照）などの記号として、あるいは定位箇に自動読取マークとして入れることができる。

この微細小孔群 2 の形成方法としては、上述のごとく肉眼で判別できない程度の小孔を形成し得る方法であれば如何なる方法によってもよく、たとえば針状部材を介して穿孔を施してもよいが、レーザー光を利用する方法が能率および仕上り等の点で最も好ましい。

穿孔の時期は用紙メーカーまたは印刷会社に

おける白紙状態の段階、印刷会社における中間製品の段階、あるいは印刷会社やユーザーにおける有価証券の完成品段階など抄造後であればいつでもよい。

次に小孔群の判別方法としては、微細小孔群の穿孔個所をスキャン等により注意深く目視するか、拡大鏡を利用して判読するか、あるいは孔の貫通による透気度の差を利用して機械的に判別するか、または小孔の貫通によって用紙のサイズ度が低下することを利用して二液反応による化学的判定も可能である。例えば塩化第二鉄とロダンアンモニウムを使って小孔群を FeSCN の赤血色に発色させることができる。

〔発明の効果〕

以上説明した如く、本考案によれば有価証券に外観上肉眼では識別できないような小孔群を施すため、この小孔群の存在を探知しにくく、したがって偽造が困難になる。また小孔群の存在を知っていたとしても、同じような小孔群を模造するには特殊な機械がなければできず、偽

字訂正



造防止に有効である。しかも真偽判定のための判別方法も、拡大鏡等による目視方法のほか機械的又は化学的におこなうことができ、その判別を自動化することもできるなどの利点がある。さらに抄造後であれば、どの段階においても細工を施せるため、製造コストからみてきわめて有利である。また穿孔するだけの細工であるから、従来の方法に比べ細工のための工程が短時間ですむなど実用上顕著な効果を奏する。

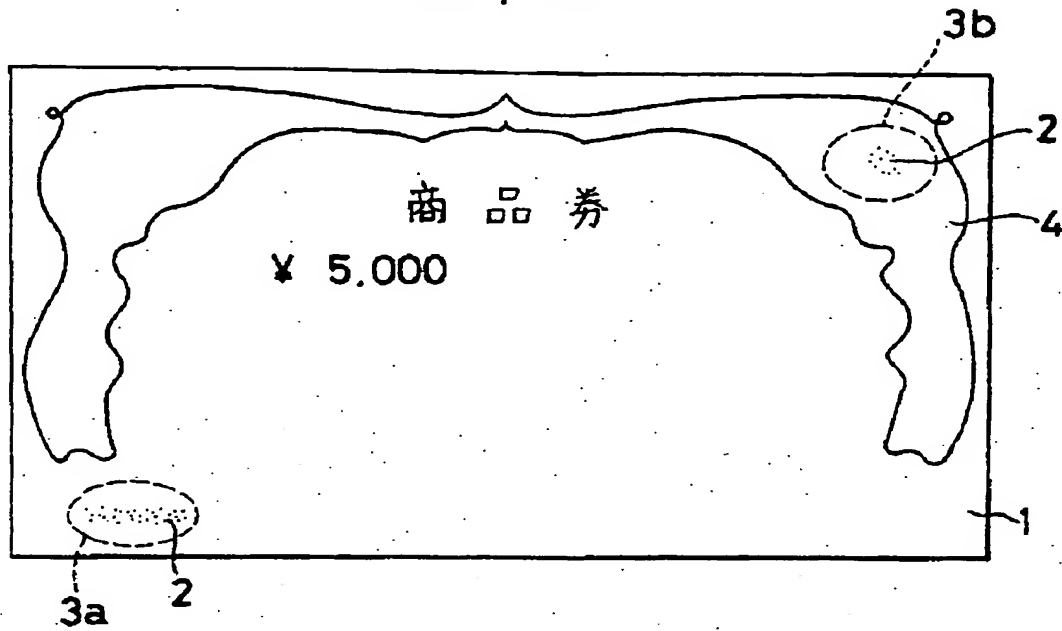
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明による微細な小孔^群を施した有価証券の平面図、第2図は第1図右上隅点線部小孔群の拡大平面図、第3図は第1図左下隅点線部小孔群の拡大平面図である。

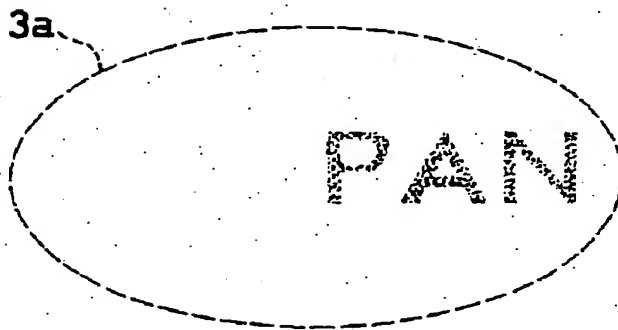
1…有価証券（商品券）、2…小孔群、4…迷彩模様印刷部

出願人代理人 弁理士 鈴 江 武 彦

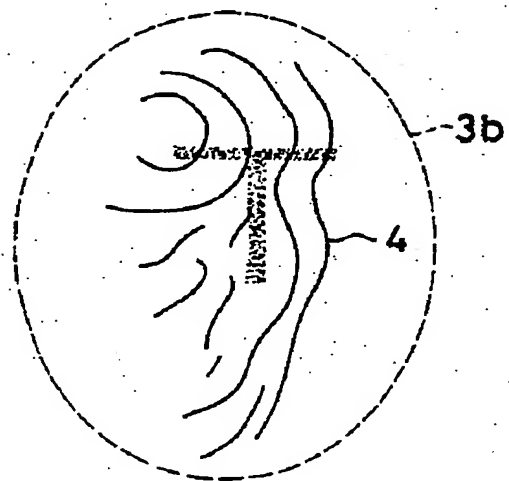
第 1 図



第 3 図



第 2 図



771

出願人 凸版印刷株式会社
代理人 鈴 江 武 彦

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☒ BLACK BORDERS

☒ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

☒ FADED TEXT OR DRAWING

☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

☒ SKEWED/SLANTED IMAGES

☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

☐ GRAY SCALE DOCUMENTS

☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.